



基本的な考え方

保土谷化学グループは、事業活動を営んでいく上で、コミュニティの持続的発展への貢献を企業市民として重要な活動と考えております。化学を通じた子供たちの育成、工場が立地する地域での環境保全活動や、人々の豊かな暮らしに役立つ有形物・無形物の提供等、さまざまな地域貢献活動に取り組んでおります。

また、内閣府が「激甚災害」に指定した災害が保土谷化学の主要拠点所在地で発生し、拠点近隣の被害が甚大であった場合、前年度当期利益の一定割合を被災した県に支援金として寄付することにしており、最近では、2023年8月に企業版ふるさと納税を通じて、日頃からお世話になっている福島県の地方創生に貢献すべく寄付しました。

かけがえのない自然を未来へ

郡山工場は、福島県が主催する清掃ボランティア「猪苗代クリーンアクション」に毎年参加しています。猪苗代湖は淡水湖としては日本で3番目の広さを有し、水質で日本一となったこともある、とても美しい湖です。しかし、湖畔に足を運ぶと多くのゴミが漂着しており、その美しさは失われつつあります。私が参加した際も、お菓子の袋やペットボトルなどの生活ゴミが多く見られ、モノづくりに関わる一人として大きな責任を感じました。ボランティア活動を通して、猪苗代湖の環境保全の一助となれただけでなく、人々の生活が環境に与える影響を実感できたのは、非常に意義深いことだと思います。かけがえのない自然を未来へ残すため、今後もこうした活動に参加しつつ、化学メーカーの一社員として貢献できることはないか、日々の業務の中で考えていきたいです。

(郡山工場 生産技術部 H.M)



子供たちの好奇心と探求心をサステナブルな世界につなげる

保土谷化学は、社会貢献活動の一環として、当社の強みである染料を用いた、水性ペンの作成と色の分離をテーマに、「夏休み子ども化学実験ショー」に出展しています。一緒に手を動かし、分かりやすい言葉を選びながら、専門的な内容を上手く伝えられるように工夫しています。子供たちの、わくわくしながら熱心に説明を聴く姿と、混ぜた色を分離できたときの驚きと喜びに満ちあふれた表情を見たときは、化学の面白さを知ってもらえてよかったと感じました。これからも、未来を担う子供たちの好奇心と探求心を刺激し、サステナブルな世界の創生に役立ちたいと思います。

(研究開発部 筑波研究所 Y.S)



第1回 本社見学会

2023年8月、従業員のご家族を招き、初めて本社見学会を開催しました。稼働中のオフィスとそこで働く従業員の様子を見て、当社とそれぞれの仕事に理解を深めていただくという趣旨のもと、当日は本社フロアの各エリア見学のほか、大会議室でのWEB会議や普段私たちが食べているヘルシーランチなども体験していただきました。

参加者それぞれに用意した名札兼本物そっくりな名刺の肩書は「スペシャルサポーター」。忙しい従業員にとって、家族が自分の仕事や環境を理解してくれることは何より大きな支えです。家族、ひいては地域・社会に誇れる仕事ができるよう、従業員一同、今後も努めてまいります。

(総務部 R.A)



小学生向けキャリア教育を応援

保土谷化学グループのサステナビリティ活動の一環として、2024年7月に開催された「こども国会2024夏」に協賛しました。このイベントは、国会議事堂を見学し、子供たちが「こどもまんなか社会」というテーマでグループワークを行い、最後に超党派議員の皆様にご自分たちの考えた理想を伝えるという企画です。

当社から参加したご家族やメンター役の従業員にとっても、子供たちのまっすぐな眼差しや出された意見に、驚きや気付きを得られる良い機会となりました。

また、当社の協賛により、参加した子供たちがわくわくする社会や公平に挑戦できる機会の創出を応援することができました。当社のキャッチフレーズである「化学で夢のお手伝い」を通じて、引き続き社会に貢献していきます。

(サステナビリティ推進部)

